

令和5年度 第3回豊島区総合教育会議 次第

日 時： 令和6年3月18日（月） 午後2時00分

会 場： 豊島区役所本庁舎8F 教育委員会室

1. 開 会

2. 議 題

令和6年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項について

3. 報 告

- (1) 未来としまミーティング（第3回）報告
- (2) 小・中学校PTA 連合会及び中学校生徒会役員と区長との意見交換会
実施報告
- (3) その他

4. 閉 会

資料1 令和6年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項

資料2 第3回 「未来としまミーティング」実施書

資料3 小・中学校PTA 連合会及び中学校生徒会役員と区長との意見交換会
実施報告

令和 6 年度

区長部局と教育委員会が連携して

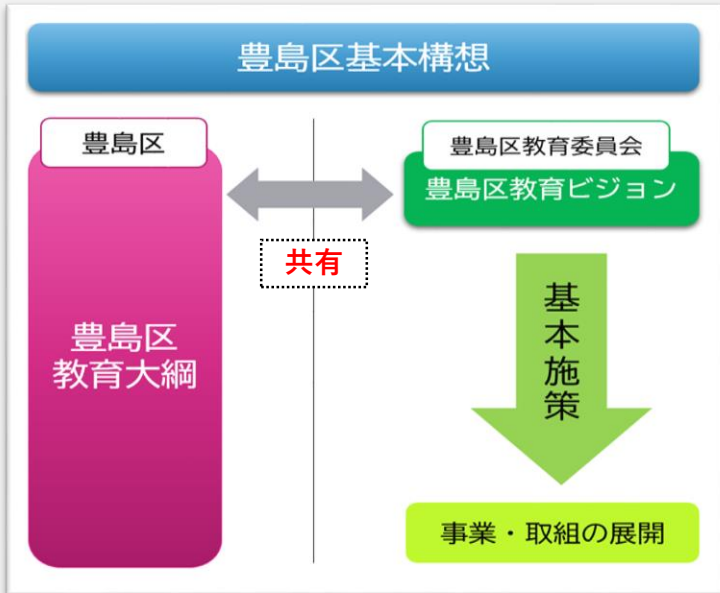
取り組む重点事項

1.さらなる教育行政の充実

全ての子どもたちが自己有用感を持ち、新たな時代を切り拓いていく教育活動を推進する計画を策定する。

教育大綱の策定と豊島区基本構想及び教育大綱を踏まえた教育ビジョンの策定

目指す教育に関する基本方針を共有することで、教育委員会と区長部局の連携・協働による、より実行力のある施策を展開していく。



特別支援教育推進計画の改定

令和6年度末で計画期間終了となる「特別支援教育推進計画」の改定を行い、全ての学校・園において特別支援教育を推進する。



不登校対策にかかる総合的な計画の検討

不登校対策と個々に応じた支援を計画的かつ組織的に行うべく、不登校対策にかかる総合的な計画を策定する。

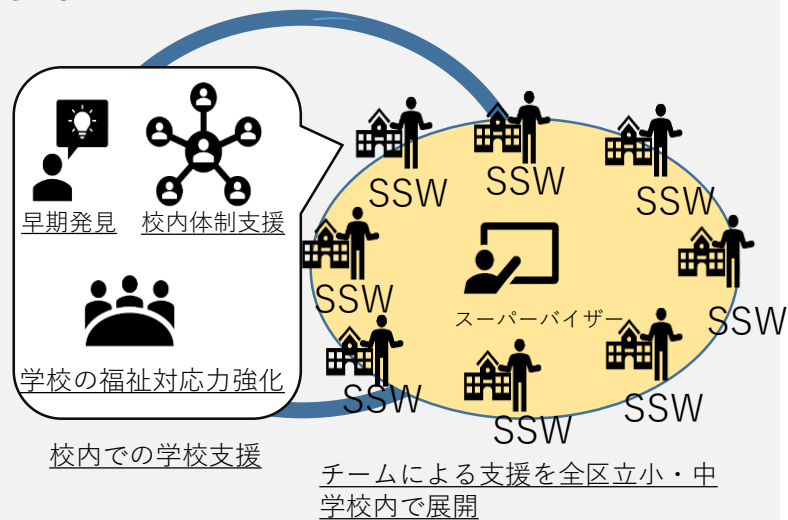


2.誰一人取り残さない学びの実現

特別な支援を要する児童・生徒や増加傾向にある不登校児童・生徒への支援の充実を図る。

不登校対策支援員の配置とスクールソーシャルワーカー（SSW）の増員

不登校や不登校傾向がある児童・生徒を支援する支援員の配置やSSWの増員を通じて、学校復帰や社会的自立への支援を行う。



スクール・スキップサポーターの体制強化

スクール・スキップサポーターを各施設1名ずつ増員（合計22名増員）し、特別な配慮が必要な児童への見守り体制を強化する。



ヴァーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）の活用

仮想空間でアバターを介してSSWと面談できるVLPを活用し、子どもの状況に応じた支援を講じる。

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム イメージ

アバター（例）	相談スペース	交流スペース	授業スペース
<p>子供 指導者・支援者 オンライン支援員</p>			
子供たちは、アバターを使い、フロア内で交流	オンライン支援員等に相談	複数の友人同士で、交流	ビデオ会議ツールで一斉学習

3.GIGAスクール構想の実現

一人一台のタブレットPCを活用した学習活動の充実とICT環境の整備を図る。

学習情報センター環境整備モデル事業と学校図書館司書のモデル配置

○ 図書と学習用タブレットによる調べ学習や発表ができる学習・情報センターを整備する。

○ 学校図書館司書をモデル的に配置強化し、授業の質向上、図書館の有効活用を図るとともに、地域に開かれた図書館の在り方を検討する。



小学校指導者用デジタル教科書の導入、教育ダッシュボード機能の活用と保護者連絡ツールの活用検討

○ 視覚的資料による子どもたちの学習内容の定着促進を図る。

○ 教育データの標準化を進めるとともに、学校・保護者間の連絡ツールの活用検討を行う。



指導者用デジタル教科書（教材）

【コンテンツ】

- 教科書紙面
- デジタルコンテンツ
 - ・資料映像
 - ・学習モデル映像
 - ・シミュレーション動画
- 資料提示ツール
- オリジナル教材を作成

学習用タブレットの耐用年数を踏まえた機器更新の検討

令和7年度に新型コロナウイルス感染症を契機に導入した学習用タブレットが導入5年目を迎えるため、今後の機器の更新について検討を行う。



4. 校務への支援充実と見直し推進

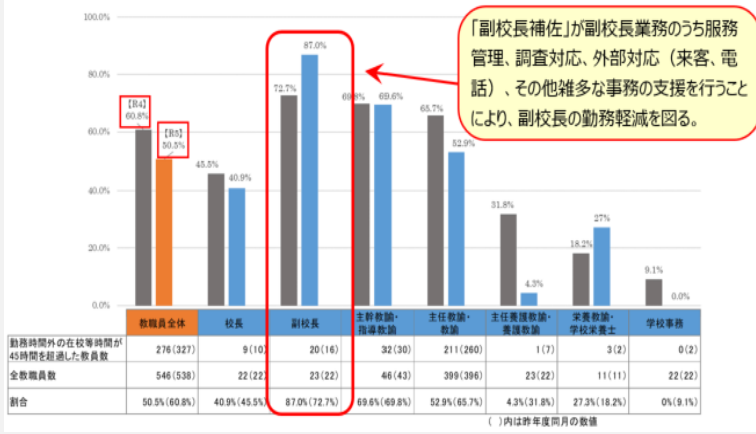
学校の校務の見直しを図り、学校における働き方改革をなお一層推進する。

学校マネジメント強化事業 (副校長補佐)

副校長の業務負担を軽減するため、副校長の業務を補佐する「副校長補佐」を小・中学校6校に配置する。

○副校長の業務負担

【小学校】勤務時間外の在職時間が45時間を超えた教職員の割合(令和5年5月分)



部活動改革事業及び部活動外部 指導員配置強化事業

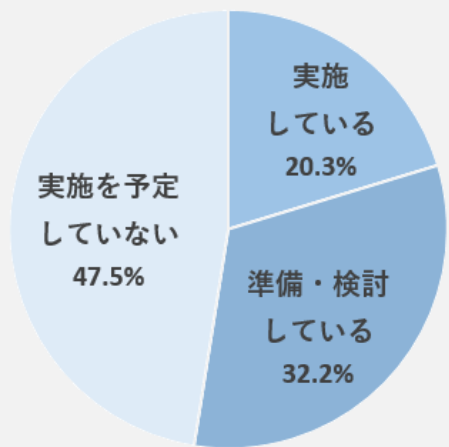
子どもたちのスポーツ、文化芸術環境の形成と教員の働き方改革の推進を図るため、部活動に関する地域人材の活用を推進する。



学校徴収金公会計化等の検討

公費の透明性確保、教員の負担軽減、保護者の利便性の向上を図るため、学校徴収金の公会計化等の検討を行う。

東京都の給食費に係る公会計化の実施状況(令和4年5月1日)



5. 社会の変化に応じた教育環境の整備

教育を取り巻く社会の動向、社会状況の変化を踏まえた教育環境を整備する。

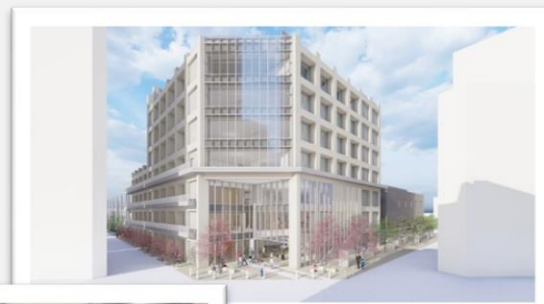
学校給食の無償化・特別支援学校等への給食費補助事業の継続

区立学校の給食費無償化を継続するとともに、区内在住の特別支援学校在籍者に対する給食費相当分の補助を継続する。



学校改築と学級増に伴う普通教室整備

計画的に改築工事を実施するとともに、児童・生徒数増及び35人学級制導入に対応するための普通教室の整備・改修を行う。



I S Sの実績を踏まえたC Sの全校展開の促進

ISS 活動で培った「安全・安心な学校づくり」をCSの中で学校、地域の協働により持続・発展させていく。



第3回 未来としまミーティング 報告書



■ 日時

日 時:令和6年1月28日(日) 13時30分~15時

場 所:西巣鴨小学校 多目的室

担当課:企画課、庶務課

■ 実施方法

以下のテーマによる意見交換を1グループで行う。

【テーマ】

これからの公立学校に期待すること

■ 参加者数

豊島区立小・中学校に通う児童・生徒の保護者 12名

■ 出席者(区側)

豊島区長 高際みゆき

豊島区教育委員会教育長 金子 智雄

■ 主な意見(要約)

ご意見について
<p>(防災について)</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時の避難場所として学校があるが、夜間など学校に人がいない時間は学校に入れな いと思うがどうしているのか。・町会での鍵の保管方法についてどうすれば良いか迷っている。・災害時に水が供給できるように、古井戸を再生してほしい。再生費用として半分を区が助 成してほしい。
<p>(校外学習等の費用負担について)</p> <ul style="list-style-type: none">・収入的に就学援助は受けられないが生活的に厳しいという家庭もあるため、修学旅行の 費用を半分出してほしい。
<p>(放課後の居場所について)</p> <ul style="list-style-type: none">・遊び場が少ないので増やしてほしい。場所がなくてボール遊びも満足にできない。北区は 公園の遊具も充実している。・4年生から学童に行けなくなるので、塾や習い事に行かせる家庭が多い。・バドミントンやバレーボールができるように体育館を自由に使わせてほしい。
<p>(アンケートについて)</p> <ul style="list-style-type: none">・運動会や学習発表会などの大きい行事の時にはあるが、そのアンケートも記名しないと いけないので本音を書けない。
<p>(タブレットや ICT 活用について)</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレットでの宿題が多く、子どもの視力が低下した。子どもにとって本当に良いのか検討 して教育の質を上げてほしい。・タブレット配布がとても早く感謝している。・リモート授業をもっと生かしてほしい。対面と比べると成果は得られないかもしれないが、 コミュニケーションを取るだけでも不登校や病気等で学校に行けない子どもの支援になる と思う。

<p>(学校教育について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネー教育や起業家教育を取り入れてほしい。 ・最近は何んでも答えがすぐわかるようになっており、便利な世の中だが考える力がとても弱っていると思う。専門の講師を呼んで教育を行うべきだと思う。 ・教えるのは学校の先生だけではなく、体育であればスポーツジムのインストラクターなどを利用して自由度の高い教育をしてほしい。 ・部活動の顧問も未経験者の教職員が担当するより、外部の経験者が担ったほうが子どもにとっても良いと思う。 ・子どもにとって担任ではない顧問の先生と話すことは大事なことだと思う。顧問を完全に外部の人間にするのではなく、先生の勤務時間を後ろ倒しにするなどして、先生が行うという方法も検討してほしい。 ・子どもは学校が楽しくて仕方ないと言っており、豊島区に感謝している。 ・男女合同で体育を実施しているが、男女では力の差もあり、子どもが嫌がっているため、競技によって臨機応変に対応してほしい。
<p>(外国籍の子どもへの支援について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の子どもへの学習サポートを強化してほしい。徒歩圏内で日本語が学べる場所を増やしてほしい。近隣の高校生や大学生、シルバー人材に学校で日本語を教えてもらう機会を作るなど検討してほしい。
<p>(いじめに対する学校の考え方について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめがあった学校や先生は昇進や評価に関わるのか。先生が報告しやすい環境を作してほしい。いじめに関してはありのままを報告し、どう対処したかを評価してほしい。 ・何か事件があったときに加害者に対してどういう対応をとっているのか教えてほしい。
<p>(学校給食について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から給食が美味しくなくなった。子どもの食べ残しが増えており、食べる量は減っている。栄養士が変わったことと、給食費の無償化が関係しているのか。 ・給食でクジラが出て食育だと感心した。
<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区立幼稚園でも3年保育をしてほしい。 ・学区外の小学校へ入学する際、入学予定のない学区内の小学校で校長面談をやることになったがなぜか。 ・PTA の話を聞いて学校と地域と区との関わり方について気持ちが変わった。

■ 当日の様子



開会のご挨拶



参加者で記念撮影



活発な意見交換の様子

■ 参加された方の感想

- ・普段疑問に思っていることについて、意見交換を行うことができ大変有意義な時間だった。
- ・参加できて良かった。知人からの紹介で知ったので、もっと大々的にアナウンスしてほしい。
- ・他の参加者の意見を聞くことができてよかった。
- ・子どもレターを誰でも見えるところに置いてほしい。親レターも置いて欲しい。
- ・区から即答できる質問ばかりではないので、少々もどかしい感じがした。
- ・面白かったしこういう場はもっとあっても良いと思う。
- ・中学生の保護者とはあまり関りがないのでこういう場はありがたいと思う。
- ・1回目は2つのグループだったが、今回は1つのグループでやれたのが良かった。



令和6年3月 編集・発行 教育部庶務課
問い合わせ:03-3981-1591(所管課電話番号)

小・中学校 PTA 連合会及び中学校生徒会役員と区長との意見交換会 実施報告

1 目的

教育大綱策定にあたって、教育に深く関わる小・中学生の保護者や、当事者である子どもたちの意見を区長が直接聴くことで、意見を教育大綱に反映させるとともに、より実効性のある大綱の策定に繋げる。

2 実施概要

(1) 中学校PTA連合会との意見交換会

- 開催日時 令和6年2月15日（木）19:00～20:00
- 会場 明豊中学校 会議室
- 参加者 中学校PTA会長、中学校PTA連合会事務局
区長、教育長
- 参加人数 15人

(2) 小学校PTA連合会との意見交換会

- 開催日時 令和6年3月8日（金）19:30～20:30
- 会場 池袋本町小学校 会議室
- 参加者 小学校PTA会長、小学校PTA連合会事務局、PTA担当校長
区長、教育長
- 参加人数 37人

(3) 中学校生徒会役員との意見交換会

- 開催日時 令和6年3月10日（日）10:30～12:00
- 会場 千登世橋中学校ランチルーム
- 参加者 中学校生徒会長、生徒会役員、区長、教育長
- 参加人数 29人

3 主なご意見（要約）

【中学校PTA連合会】

《部活動について》

- ・校庭が狭いため、運動部が少ない。立地条件に左右されない文科系に特化した部活動ができないか。学校の垣根を越えて参加できる部活があると良い。
- ・土曜部活は学校を超えた繋がりができて良いと聞いているが、知らない保護者が多い。

《特別授業について》

- ・新ニーサなどの金融教育があると良い

・学校の中で宿泊し、段ボールベットに寝るなど、震災シミュレーション体験が出来ると良い。

《教育センター・不登校対策について》

・教育センターの認知度をアップすべき。ゆずの木教室など、知らない保護者が多い。

・部活動を教育センターで実施するなど、誰が行っても良い施設と認識してもらえると良い。

・不登校の問題に関して、どういった支援あるのか分からない。教育センターをはじめとした支援施設等の周知が必要。

・リモート授業の環境が良くない。黒板の板書が写らないことがあり、チャット禁止のため見えないと訴えることもできず、授業に興味が無くなる。

・不登校の子どもは授業が遅れる傾向がある。全国規模でネット授業を用意すべき。YouTubeなどでも良い。

《タブレット活用について》

・タブレットと教科書を入れると通学カバンが重くなる。タブレットに教科書の内容を入れてほしい。

《保護者と学校の連絡ツールの活用について》

・学校への出欠連絡など、保護者が便利になるツールを活用してほしい。

・アプリを活用して学校と保護者の情報連絡を行っている学校がある一方、連絡は紙やチラシのみの学校もある。教育委員会がアプリを入れると良いなど押し立てると良い。

【小学校PTA連合会】

《保護者と学校の連絡ツールの活用について》

・保護者への手紙をメールで配信できないか。

・他区ではアプリを導入してより利便性を持たせている。デメリットとしては双方向連絡のため保護者の連絡業務に追われる教員の問題も出ている。

《教員の人員不足について》

・教員不足をカバーするために、先生のお手伝いをできる人を増やせないか。

・学校側にPTA活動に関与してもらうことが難しくなっている。業務外の活動になるため関与のお願いもしにくい。

・PTA会費を区からの助成金で賄えないか。より学校へのボランティアとして保護者が関わってくれるのではないか。

《PTA活動について》

・区がPTA活動お金を出すことは、趣旨が違う。皆で考えて活動することが、やらなくてはいけない活動になってしまう。

・PTAの存在は保護者の集まりで、PTAの存在が保護者と先生との間のクッションとなれば良いと思っている。

《その他》

- ・教員が発達障害や特別支援について学ぶ機会が必要。担任の先生が、専門家に委ねることが多いが、困りごとクラスの中で起こっている。担任の先生がクラスで解決すべき。
- ・不登校対策について、区としてもっと取り組んでほしい。

【中学生生徒会との意見交換会】※概要調整中

- ・子どもレターについて
- ・校則について（髪型、靴下の色など）
- ・校舎の建て替え予定について
- ・校庭の外灯について
- ・デジタル教科書の導入について
- ・タブレットの通信環境について
- ・公園のトイレについて
- ・家以外で勉強できる自習室の開放について
- ・部活動について（種類・予算・顧問）